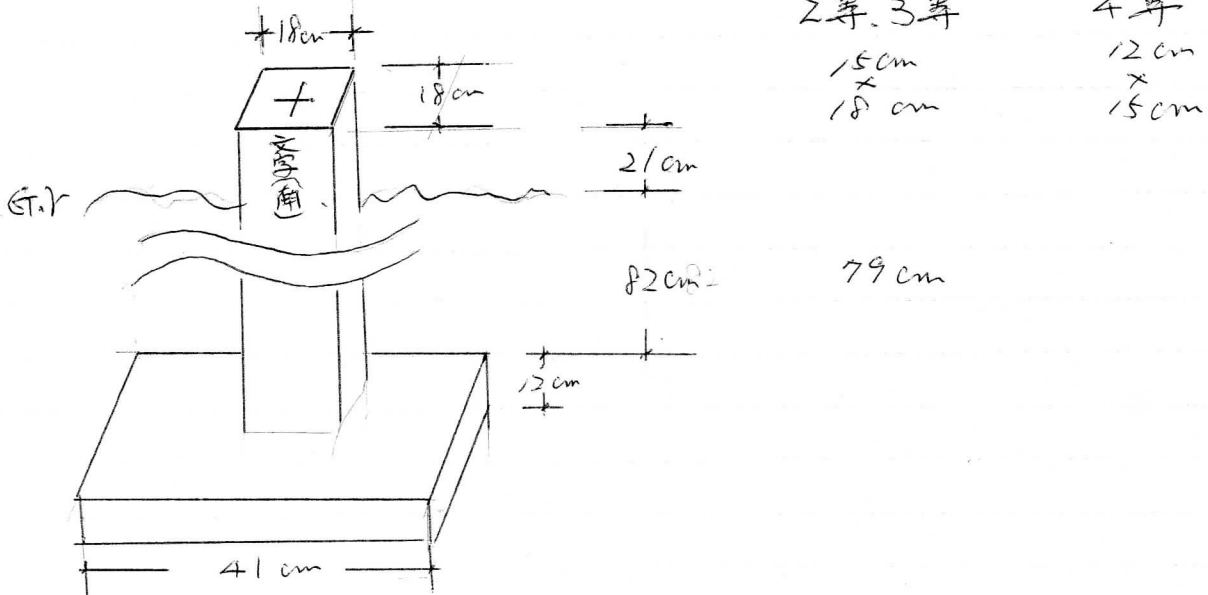


△ 三角点

- 明治に入り、国土測量の為、ある地点の距離や角度を三角測量という方法で求める為の基準点。その為北緯何度何分、東経何度何分が正確に定められている
- 見通しの良い地点に置かれ、山頂(最高地点)にあるとは限らない。(高さを測量する基準となるのは水準点) 日本水準点 日本水準点は東京、三宅坂の国会前にあり、海拔24.414m。
- 基本になるのは一等三角点。(以下の二つ)
 - 辺が50kmの三角点網で本点
 - 25kmに置かれているのが補点
- 二等は- 辺が約8km、3等は4km、4等は1.5km
- 標高点(独標) --- 補助的に測量した点
 - + 勝岳、浅間山、剣岳、立山(大池山)
 - + 槍ヶ岳、奥穂高岳、大山、石鎚山
- 測定点 --- 最寄の三角点や標高点よりの測定点
 - 富士山(剣ヶ峰3776m) 3775.6mは二等三角点
 - 鳥海山、黒岳、聖岳

○ 三角点標石



- ※ 一等三角点(本点) 百名山より (全27ヶ所)
 大雪山、白馬岳、立山(雄山)白山、甲斐駒ヶ岳、大台ヶ原山、赤石岳、伊吹山、岩木山、八甲田山、剣山、宮之浦岳